

系統差に関する基礎情報

【研究分野別】



日本チャールス・リバー株式会社

系統差に関する基礎情報

(研究分野別)

1. 基礎
2. 免疫
3. 炎症
4. 癌
5. 感染症
6. 潰瘍
7. 精神・神経
8. 循環器系
9. 代謝性疾患（糖尿病・肥満）

紹介させて頂きました文献につきましては、著作権等の観点から弊社より送付させて頂く事はできませんので、ご了承願います。

『未発表・社内データ』と掲載されているものについては、弊社までお問合せ下さい。

<http://www.crj.co.jp>

お問い合わせは

日本チャールス・リバー株式会社

〒222-0033 横浜市港北区新横浜 3-17-6 イノテックビル11F
第一営業部 TEL:045-474-9340 FAX:045-474-9341

1. 基礎

1-1	<p>表題 : 3系統のラットにおける尿量、糸球体濾過量、主要成分の尿中排泄量及び再吸収分画の比較</p> <p>出典 : Exp.Anim,43(2)167-172,1994,</p> <p>概要 : SD,Wistar,F344における腎機能検査の項目である尿量、GFR,水分、Ca,IP,Na+,K+,Cl-,およびGlu,UNの排泄量、FRを測定した。</p> <p>使用動物: F344,SD Wistar-Imamichi</p> <p>結果 : GFR,Ca+,Cl-,UNのFRは有意差無。IPのFR、Na+,Cl-,UNのFRはWis>SD=F344,</p>
1-2	<p>表題 : SD系雌ラットの性周期の加齢性変化に関する研究</p> <p>出典 : 秦野研年報17、37-40(1994)</p> <p>概要 : SDとWistarラットを加齢させて性周期を調査した。</p> <p>使用動物: SD Wistar</p> <p>結果 : Wistarに比べSDの方が早期に雌の加齢性変化が現れる。</p>
1-3	<p>表題 : Changes in Hepatic enzyme Activities Related to Ethanol Metabolism in Mice Following Chronic Ethanol Administration</p> <p>出典 : J.Nutr.Sci.Vitaminol.,41,527-543</p> <p>概要 : 80日間エタノール飲水を与え、肝でのエタノール代謝経路の酵素活性の変化を検討</p> <p>使用動物: C57BL/6,DBA/2,C3H</p> <p>結果 : ミクゾロームとミコントリアのアルデヒド酸化に関与する酵素の活性に系統差がある</p>
1-4	<p>表題 : Comparison of Age-Related Changes between Long-Lived CRJ:CD-1(ICR) and CRJ:B6C3F1 Mice</p> <p>出典 : Jpn.J.Net.Sci.48(2):273-284,1986</p> <p>概要 : ICRとB6C3F1を104週間飼育し、体重、生存率、病理学的変化を比較</p> <p>使用動物: ICR,B6C3F1</p> <p>結果 : 生存率: B6C3F1>ICRなど</p>
1-5	<p>表題 : ラットにおけるN-ニトロ化合物の化学構造と標的臓器—系統差の影響について—</p> <p>出典 : Fisher Rat 研究会データ集(4)</p> <p>概要 : N-ニトロ化合物の影響と系統差を検討</p> <p>使用動物: F344,Donryu ACI/N</p> <p>結果 : 系統差による標的臓器の違いはない</p>
1-6	<p>表題 : F344ラットとWistar系ラットとの比較</p> <p>出典 : Fisher Rat 研究会データ集(3)</p> <p>概要 : BW,生存率、自然発生腫瘍、腫瘍移植性の比較</p> <p>使用動物: F344 Wistar-Imamichi,Wistar</p> <p>結果 : データのみ</p>
1-7	<p>表題 : Fischerラットと他系統ラットにおける帝王切開時の胎児の比較</p> <p>出典 : Fisher Rat 研究会データ集(5)</p> <p>概要 : 自然発生奇形の発生率の系統差</p> <p>使用動物: F344,SD SD,Wistar</p> <p>結果 : F344外形異常発生率が低い</p>
1-8	<p>表題 : ラットの摂餌量・摂水量</p> <p>出典 : 未発表・社内データ等</p> <p>概要 : 摂餌量、摂水量</p> <p>使用動物: SD,SD(IGS),Wistar,Donryu</p> <p>結果 : データのみ</p>
1-9	<p>表題 : アルビノとノドマウスのホルモン比較</p> <p>出典 : 未発表・社内データ等</p> <p>概要 : テストステロン、エストラジオール値の比較</p> <p>使用動物: ICR,ICR-Nude,BALB/c,BALB/c-nude</p> <p>結果 : データのみ</p>

1-10	表題 : マウス血液の系統差 出典 : 未発表・社内データ等 概要 : 血小板、白血球、赤血球の系統差 使用動物: C57BL/6,C3H,BALB/c,BDF1,B6C3F1 結果 : データのみ
1-11	表題 : F1マウスにみられた水腎症について 出典 : 未発表・社内データ等 概要 : F1マウスの水腎症の出現率 使用動物: BDF1,CDF1,B6C3F1 結果 : データのみ
1-12	表題 : ラットの系統別による腔インピーダンスの経時的変化 出典 : 第41回日本実験動物学会総会(1994) 概要 : 腔インピーダンスの日内変動と系統差 使用動物: SD,Wistar,F344 SD,Wistar,F344 結果 : 系統により最高値時刻に差がある、全般に夕刻が高い
1-13	表題 : 受精能試験の基礎データ(CRJと他社の比較) 出典 : 未発表・社内データ等 概要 : 生殖基礎データ 使用動物: SD SD 結果 : データのみ
1-14	表題 : 催奇形性試験の基礎データ(CRJと他社の比較) 出典 : 未発表・社内データ等 概要 : 生殖基礎データ 使用動物: SD SD 結果 : データのみ
1-15	表題 : 分娩試験の基礎データ(CRJと他社の比較) 出典 : 未発表・社内データ等 概要 : 生殖基礎データ 使用動物: SD SD 結果 : データのみ
1-16	表題 : SPF下に長期飼育されたマウス、C57BL/6およびBDF1における自然発生腫瘍 出典 : Exp. Anim. 41(3),279-285, 1992 概要 : 長期間飼育した各系統の腫瘍性病変などについて 使用動物: C57BL/6N,BDF1 C57BL/6Cr 結果 : CRJのC57BL/6の自然発生腫瘍の頻度は♂79.2%♀77.4%、BDF1は♂78.0%♀75.8%にみられ、2年以上生存した個体は高頻度で腫瘍が認められた
1-17	表題 : SD系、Wistar系及びF344系ラットにおける自然発生眼病変 出典 : 比較眼科15,1-10(1997) 概要 : 毒性試験に用いたラットの自然発生眼病変の系統差 使用動物: SD,F344 Wistar 結果 : Wistarの前眼部・中間透光体病変、F344後眼部病変の発生率が他の系統より高い。網膜萎縮の発生率は各系統とも加齢に伴い増加した。
1-18	表題 : Improvement of a Mouse Feeder for Chemical Toxicology Testing 出典 : Exp.Anim. 47(2), 123-126, 1998 概要 : 給餌器の改良による摂餌量計測の正確度の検討 使用動物: ICR,B6C3F1

1-19	表題 : Differences in Survivability among F344 Rats 出展 : Exp.Anim.49(2)2000 概要 : F344/DuとF344/Nの差 使用動物: F344/Du F344/N 結果 : 加齢による生存率および病変に差がみられた。
1-20	表題 : メタンフェタミンによる神経毒性とマウス系統差について 出典 : 日本神経精神薬理学雑誌17:244(1997) 概要 : メタンフェタミンの高用量反復投与による神経毒性発現の系統差 使用動物: BALB/c,DBA/2,C57BL/6N 結果 : 神経毒性発現はDBA/2,BALB/cで顕著にみられた。C57BL/6Nではあまりみられなかった。
1-21	表題 : Crj各種マウスの生殖生理値 出典 : 未発表・社内データ等 使用動物: ICR,C3H,C57BL/6N,BALB/c 結果 : データのみ
1-22	表題 : モノクローナル抗体生産効率の比較データ 出典 : 未発表・社内データ等 使用動物: ICR-nu BALB/c-nu 結果 : データのみ
1-23	表題 : Variability in the Incidence of Spontaneous Tumors in CD(SD)IGS,CD(SD),F344 and Wistar Hannover Rats 出典 : CD(SD)IGS-2001:1-7 概要 : 自然発生腫瘍データ 使用動物: SD,SD(IGS),F344,WIS(Han) 結果 : データのみ
1-24	表題 : CRJのMRLマウスデータ 出典 : 未発表・社内データ等 概要 : MRLマウス(CRJ,JAX)の比較 使用動物: MRL/MpJUmmCrj MRL/MpJ 結果 : データのみ
1-25	表題 : MRL/MpJマウスとMRL/MpUmmCrjマウスの自然歴 出典 : 未発表・社内データ等 概要 : MRLマウス(CRJ,JAX)の比較 使用動物: MRL/MpJUmmCrj MRL/MpJ 結果 : データのみ
1-26	表題 : マウスを用いた骨粗鬆症モデル 出典 : アニテックスVol.5 No.5 概要 : 卵巣摘出+片側後肢不動化処理による骨粗鬆症モデルにおけるマウスの反応性に関する系統差 使用動物: ICR,BALB/c,DBA/2,C57BL/6,C3H/HeN ddY 結果 : ICRで反応性が高かった。

2. 免疫

2-1	<p>表題 : マウス末梢血単球のエントキシン誘発サイトカイン産生能の系統および週齢による変動</p> <p>出典 : Exp.Anim.43(4),545-549,1994</p> <p>概要 : エントキシン誘発サイトカイン産生量の系統差と週齢による差の検討</p> <p>使用動物: DBA/2,BALB/c,C57BL/6,C3H ICR,ddY</p> <p>結果 : IL-1α産生量はDBA/2,BALB/cで低値、IL-1βはDBA/2,BALB/c,C57BL/6で低値、IL-6はDBA/2,BALB/c,C57BL/6で低値</p>
2-2	<p>表題 : PCL誘発マウス接触性皮膚炎モデルにおける二相性反応の検討</p> <p>出典 : 未発表・社内データ等</p> <p>概要 : データのみ</p> <p>使用動物: NC,CBA,BALB/c,C3H,DBA/2 C57BL/6J</p> <p>結果 : CBA,DBA/2にて2相性応答が見られたがBALB/cでは遅発型応答のみ。</p>
2-3	<p>表題 : Histological Characteristics of Respiratory System in Brown Norway Rats</p> <p>出典 : Exp.Anim.46(2),127-133,1997</p> <p>概要 : BNラットの呼吸器系の組織学的特性(F344と比較)</p> <p>使用動物: F344,BN</p> <p>結果 : BNの粘膜下腺はF344より数が多く発達していた</p>
2-4	<p>表題 : Response of Respiratory Epithelium of BN and F344 Rats to Formaldehyde Inhalation</p> <p>出典 : Exp.Anim.46(4),279-286,1997</p> <p>概要 : ホルムアルデヒド吸入暴露による呼吸器系の組織学的変化</p> <p>使用動物: F344,BN</p> <p>結果 : BNはHCHOに対する感受性が低い</p>
2-5	<p>表題 : 低線量放射線によるマウスの放射線抵抗性獲得</p> <p>出典 : 放射線生物研究 30(4),1995</p> <p>概要 : マウスの放射線抵抗性の獲得に関する研究と系統差</p> <p>使用動物: ICR,BALB/c,C3H,BDF1,C57BL/6</p> <p>結果 : 抵抗性の獲得に系統差あり(ICR,C57BL有り、BALB,BDF1,C3H無し)</p>
2-6	<p>表題 : Strain specific responses of inbred rats on the severity of experimental autoimmune glomerulonephritis</p> <p>出典 : J.Clin .Lab.Immunol.(1986),19,193-199</p> <p>概要 : 実験的自己免疫系球体腎炎症状の系統差</p> <p>使用動物: F344,LEW,WKY,SHR</p> <p>結果 : 系統差により腎損傷の強さに影響する</p>
2-7	<p>表題 : Possible Involvement of C5/C5a in the Efferent and Elicitation Phases of Contact Sensitivity</p> <p>出典 : The Journal of Immunology</p> <p>概要 : 遅延型過敏症の初期におけるC5/C5aの役割</p> <p>使用動物: DBA/1,DBA/2,CBA,C3H,C57BL/6 A/J,AKR</p>
2-8	<p>表題 : Strain Difference in Allergic Asthma Model in Rats</p> <p>出典 : Japan.J.Pharmacol.45 63-68(1987)</p> <p>概要 : アレルギー性喘息モデルの作成と系統差</p> <p>使用動物: Wistar,LEW,F344</p>
2-9	<p>表題 : IgE Response to Fasciola hepatica Extract in Several Inbred Mouse Strains</p> <p>出典 : Exp.Anim.43(3),449-451(1991)</p> <p>概要 : 肝蛭抽出液に対するマウスのIgE応答の系統差</p> <p>使用動物: C3H,CBA/J,DBA/2,BALB/c,C57BL/6N,NZBWF1</p> <p>結果 : DBA/2、BALB/cが高いIgE応答を示した</p>
2-10	<p>表題 : アレルギー性疾患モデル動物としてのBN系ラットの有用性</p> <p>出典 : 第31回岡山実験動物研究会</p> <p>概要 : BNラットの免疫学的特性(発表原稿)</p> <p>使用動物: Wistar,CD,BN</p> <p>結果 : BNは抗アレルギー薬の効果を判断するのに有用</p>

2-11	表題 : 肺好酸球症のマウスモデル 出典 : 炎症 Vol.9 No.3 May 1989 概要 : マウスにブタ回虫抽出液を点鼻して肺好酸球浸潤モデルを作成した。 使用動物: C57BL/6,BALB/c,C3H W/W,C57BL-nu 結果 : C57BL/6が最も好酸球浸潤を惹起した
2-12	表題 : Strain and route differences in airway responsiveness to acetylcholine in mice 出典 : Research Communications in Molecular Pathology and Pharmacology Vol.90,No.1 Oct 1995 概要 : アセチルコリンの気道への作用、投与経路と系統差 使用動物: C57BL/6,DBA/2
2-13	表題 : PCA反応のラットの系統間及び週齢による比較研究 出典 : 未発表・社内データ等 使用動物: SD,F344 結果 : データのみ
2-14	表題 : Immunohistochemical study of insulinitis induced by multiple low doses of streptozocin in CD-1 mice 出典 : 未発表・社内データ等 概要 : ストレプトゾシン誘発糖尿病マウスの免疫学的試験 使用動物: ICR,ICR-Nude
2-15	表題 : H-2 Haplotype and sex-related differences in IgG response to ovalbumin in mice 出典 : Exp.Anim.41(3),315-319,1992 概要 : H-2ハプロタイプと性差にともなう卵白アルブミンに対するIgG応答の相違 使用動物: C3H,CBA/J,NZBWF1,ICR,BALB/c,C57BL/6,DBA/2 結果 : C3Hが高い
2-16	表題 : Molecular and cellular characterization of the immune response to heat-labile enterotoxin(LT) of Escherichia coli 出典 : 未発表・社内データ等 概要 : LT-B1に対する免疫反応はH-2ハプロタイプに関係している 使用動物: BALB/c,C57BL/6,C3H 結果 : BALB/c,C57BL/6が感受性強い
2-17	表題 : IgE抗体産生および気道収縮に対する反応性 出典 : 未発表・社内データ等 概要 : 卵白アルブミンを感作してPCA反応、IgE測定 使用動物: BN,Wistar 結果 : BN>>Wistar
2-18	表題 : スギ花粉アレルギー免疫ラットにおけるIgE抗体応答 出典 : Exp.Anim.42(1),61-65,1993 概要 : スギ花粉アレルギーモデル動物の有用性に関する系統差 使用動物: BN,F344,SHR SD,Wistar,F344,Donryu 結果 : BNが最適
2-19	表題 : Strain Differences in Histamine Release from Peritoneal Mast Cells in Rats 出典 : Gen.Pharmac.31(4),613-616(1998) 概要 : ラットの腹腔マストセルからのヒスタミン遊離の系統差について検討した。 使用動物: SD,Wistar,BN 結果 : マストセル、細胞数、ヒスタミン: SD,Wis>BN,ヒスタミン遊離剤、抗IgEへの感受性: SD,Wis<BN
2-20	表題 : アレルギー疾患の動物モデル【喘息モデル】ラット 出典 : アレルギーの領域Vol.3 No.5(1996) 概要 : BNラットを用いた喘息モデルの特徴 使用動物: SD,LEW,BN 結果 : BNラットは高いIgE抗体産生、高酸球増多または組織リモデリングを示す
2-21	表題 : NC/Ngaマウスを用いた喘息モデル 出典 : 未発表・社内データ等 概要 : データのみ 使用動物: BALB/c,NC

2-22	<p>表題 : LPS Response</p> <p>出典 : 未発表・社内データ等</p> <p>概要 : IL-1産生に対するLPSの影響のマウス系統差</p> <p>使用動物: BALB/c,C57BL/6N,ICR,DBA/2,CBA/J,DBA/1,C3H</p> <p>結果 : データのみ</p>
2-23	<p>表題 : Reduced Expression of STAT4 and IFN-γ in Macrophages from BALB/c Mice</p> <p>出典 : The Journal of Immunology</p> <p>概要 : IL-12R1により誘発したIFN-γ産生能の系統差</p> <p>使用動物: C3H,C57BL/6,BALB/c</p> <p>結果 : Th2優位の免疫反応をみせるBALB/cにおいて、IFN-γ産生能および細胞内STAT4レベルが低かつ</p>
2-24	<p>表題 : Mechanisms of Enhanced Macrophage-Mediated ProstaglandinE2 Production and its Suppressive Role in Th1 Activation in Th2-Dominant BALB/c Mice</p> <p>出典 : The Journal of Immunology</p> <p>概要 : LPSにより誘発したProstaglandinE2産生能の系統差</p> <p>使用動物: BALB/c,C3H,C57BL/6,DBA/2 A/J,AKR/N,CBA/N</p> <p>結果 : BALB/cが最も高かった。</p>
2-25	<p>表題 : 移植実験研究と近交系ラット</p> <p>出典 : CRJ LETTERS Vol.4 No.2</p> <p>概要 : 近交系ラットの移植研究に関して</p> <p>使用動物: LEW,BN, DA,PVG</p> <p>結果 : 近交系ラットのハプロタイプ</p>
2-26	<p>表題 : A Novel Murine Model of Graves' Hyperthyroidism with Intramuscular Injection of Adenovirus Expressing the Thyrotropin receptor</p> <p>出典 : The American Association of Immunologist</p> <p>概要 : TSHR、β-galactosidaseを用いてグレーブス病モデルの作成を行った。</p> <p>使用動物: BALB/c,CBA,C57BL/6,DBA/1,SJL</p> <p>結果 : BALB/cの♂♀およびC57BLの♀においてグレーブス病様病変が認められた。</p>

3. 炎症

3-1	<p>表題 : Strain difference in change in airway responsiveness after repeated antigenic challenge in three strains of rats</p> <p>出典 : Gen.Pharmac.Vol.24,1265-1272(1993)</p> <p>概要 : 抗原反復感作後の気道反応性の変化、系統差</p> <p>使用動物: Wistar,BN,LEC</p>
3-2	<p>表題 : ラット系統間における自己免疫腎炎の研究</p> <p>出典 : Fisher Rat 研究会データ集(7)</p> <p>概要 : 講演資料</p> <p>使用動物: SD,LEW,F344, Buffalo,August,BN,LEW/BN-hybrid,Wistar,ACI</p>
3-3	<p>表題 : Histological, immunological and biochemical studies on typeII collagen-induced arthritis in rats</p> <p>出典 : Biomedical Research 3(5)495-505,1982</p> <p>概要 : LEW(CRL),F344コラーゲン関節炎モデルの評価</p> <p>使用動物: F344,LEW(GRL)</p>
3-4	<p>表題 : Use of Wistar-LEW rats ajuvant arthritis</p> <p>出典 : 未発表・社内データ等</p> <p>概要 : アジュバント関節炎の系統間比較</p> <p>使用動物: LEW SD</p> <p>結果 : データのみ</p>
3-5	<p>表題 : Use of LEW and F344 rats ajuvant arthritis</p> <p>出典 : 未発表・社内データ等</p> <p>概要 : アジュバント関節炎の系統間比較</p> <p>使用動物: LEW,F344</p> <p>結果 : LEWが発症率高い</p>
3-6	<p>表題 : Strain Difference in Sensivity of Mice to Renal Toxicity of Inorganic Mercury</p> <p>出典 : J.Pharm.& Exp. Ther., 285(1) 335-341(1998)</p> <p>概要 : HgCl₂による腎臓障害について、パラメーターとメカニズム、系統差を検討した。</p> <p>使用動物: C3H,C57BL/6,B6C3F1</p> <p>結果 : 無機水銀の腎毒性の感受性の系統差は水銀貯蓄能力の差によって生じ、γ-GTPはその指標になる</p>
3-7	<p>表題 : Nephrotoxic Serum-Induced Nephritis in Wistar-Kyoto Rats; A Model to Evalutate Antinephritic Agents</p> <p>出典 : Jpn. J. Pharmacol 77,129-135(1998)</p> <p>概要 : 抗腎炎評価モデルとしてのNTS誘発系球体腎炎の作製</p> <p>使用動物: SD,WKY</p> <p>結果 : WKYは少量のNTSにより半月状系球体腎炎を誘発した</p>
3-8	<p>表題 : Brown-Norwayラットにおける消化管ヒスタミン含量の特徴</p> <p>出典 : Therapeutic Research Vol20, 1999</p> <p>概要 : 即時型アレルギー反応による炎症性腸疾患モデルとしての有用性の検討</p> <p>使用動物: BN,Wistar,SD</p> <p>結果 : 高IgE抗体産生能を有するBNラットは能動感作により高い消化管ヒスタミン含量を示す。炎症性腸疾患モデルにおけるBNラットの有用性が示唆された。</p>
3-9	<p>表題 : Different Sensitivity to Bleomycin-Induced Pulmonary Fibrosis among Various Strains of Mice</p> <p>出典 : J.Clin.Biochem</p> <p>概要 : プレオマイシン誘導の肺繊維症に対する感受性の系統差</p> <p>使用動物: DBA/2,BALB/c,C3H,CBA,C57BL/6N,CDF1,CBF1,B6C3F1,BDF1 ICR,C57BL/10,A/J</p> <p>結果 : C57BL/10,ICR,C3H>C57BL,DBA/2,A/J,B6C3F1,BDF1>CBA/JN,BALB/c,CDF1,CBF1</p>

3-10	表題 : Atopic NC/Nga Mice as a Model for Allergic Asthma: Cytokine Profiles and Eosinophil Productivity of Bone Marrow
	出典 : Immunology
	概要 : 実験的に喘息を誘発したNCマウスで見られる好酸球増加症について研究するため、NCとBALB(コントロール)に抗原感作処理をした。
	使用動物: NC,BALB/c
	結果 : 抗原感作処理をした場合、NCではBALBと比較して、インターフェロン- γ の生産能力が低く、好酸球の生産能力が高かった。
3-11	表題 : Effect of Antiallergic Drugs on InterLeukin 5-Induced Eosinophil Infiltration of Rat Airway
	出典 : Biol.Pharm.Bull.25(3)318-322(2002)
	概要 : mrIL-5を気管部に注射して好酸球を誘導した。
	使用動物: BN, F344
	結果 : mrIL-5を気管部に注射して好酸球を誘導した。
3-12	表題 : Sex-related differences in the initiation of allergic rhinitis in mice
	出典 : Allergy 2001; 56: 525-531
	概要 : 鼻炎モデル作成のため、マウスに抗原感作を行い、抗体の生産量の性差を調べた。
	使用動物: CBA/J,BALB/c
	結果 : CBA/Jでは、雄よりも雌のほうが、IgE生産量が高かった。IgG1と好酸球の生産量には性差は見られなかった。BALB/cでは、IgE生産量に性差が見られなかった。
3-13	表題 : Atopic NC/Nga Mice as a Model for Allergic Asthma:Sever Allergic responses by Single Intranasal Challenge with Protein Antigen
	出典 : J.Vet.Med.Sci.63(4):2001
	概要 : 喘息モデルとしての有用性をみるため、経鼻的にOVAを感作させた。
	使用動物: BALB/c,NC
	結果 : BALB/cと比較してNCでは、より顕著な好酸球の増加がみられた。
3-14	表題 : マウス摂食過敏反応における消風散の効果
	出典 : 皮膚28-4
	概要 : DNFBの塗布により接触性皮膚炎モデルを作成した。
	使用動物: BALB/c,C3H
	結果 : BALB/cにおいて、より顕著な耳介腫脹がみられた。
3-15	表題 : アレルギー性皮膚疾患における漢方方剤
	出典 : CRJ LETTERS Vol.16 No.1
	概要 : IgE介在性3相性皮膚炎のマウス系統差。
	使用動物: BALB/c,DBA/2,DBA/1,SJL,C57BL/6N,C3H/HeN
	結果 : 反応性に系統差がみられた。
3-16	表題 : 抗-Type II コラーゲンモノクローナル抗体誘導関節炎の発症パターンにおけるマウス系統差の検討
	出典 : 未発表・社内データ等
	概要 : 関節炎用カクテルを用いたCIA発症。
	使用動物: BALB/c,C57BL/6N,BALB/c-nu scid
	結果 : 発症の重篤度、発症部位の系統差データ。
3-17	表題 : Brown-Norway系ラットを用いた潰瘍性大腸炎モデルの作製
	出典 : 未発表・社内データ等
	概要 : DSS大腸炎、抗原抗体反応誘発大腸炎に対する感受性の系統差
	使用動物: BN,SD
	結果 : DSS大腸炎、抗原抗体反応誘発大腸炎に対する感受性:BN>SD
3-18	表題 : デキストラン硫酸ナトリウム誘発大腸炎モデルにおけるラット系統差
	出典 : 未発表・社内データ等
	概要 : DSS大腸炎モデル作製における系統差
	使用動物: SD(IGS),F344,LEW
	結果 : F344ラットにおいて最も高頻度かつ安定した大腸炎発症が認められた。
3-19	表題 : Strain Specific responses of Inbred Rats on the severity of Experimental Autoimmune Glomerulonephritis
	出典 : J.Clin.Lab.Immunol(1986),19
	概要 : 腎炎誘発抗原を用いた腎炎モデルの系統差
	使用動物: F344,LEW,WKY,SHR
	結果 : 尿中タンパク測定の結果:WKY>SHR>LEW>F344

4. 癌

4-1	表題 : Strain Differences in Susceptibility to 2-Acetylaminofluorene and Phenobarbital Promotion of Hepatocarcinogenesis:Immunohistochemical Analysis of Cytochrome P-450 Isozyme Induction by 2-Acetylaminofluorene and Phenobarbital
	出典 : Jpn.J.cancer Res. 80,1041-1046 Nov 1989
	概要 : 肝発癌の感受性の系統差
	使用動物: F344,SHR,LEW WBN,SD,NAR
4-2	表題 : Strain Differences in Susceptibility to 2-Acetylaminofluorene and Phenobarbital Promotion of Rat Hepatocarcinogenesis in a Medium-term Assay System: Quantitation of Glutathione S-Transferase P-positive Foci Development
	出典 : Jpn.J.Cancer Res. 80,939-944, Oct 1989
	概要 : 肝発癌促進物質の中期測定法
	使用動物: F344,SHR,LEW WBN,SD,NAR
4-3	表題 : Significance of Strain and Sex Differences in the Development of 252Cf Neutron-induced Liver Tumors in Mice
	出典 : Jpn.J.Cancer Res. 83,1052-1056,Oct 1992
	概要 : 卵摘、睾丸摘出前後の252Cf被爆による肝発癌の系統差、性差
	使用動物: B6C3F1,C3B6F1,C57BL/6,C3H
4-4	表題 : Significance of Strain and Sex Differences in the Development of 252Cf Neutron-induced Liver Tumors in Mice
	出典 : Jpn.J.Cancer Res. 83,1052-1056,Oct 1992
	概要 : 卵摘、睾丸摘出前後の252Cf被爆による肝発癌の系統差、性差
	使用動物: B6C3F1,C3B6F1,C57BL/6,C3H
4-5	表題 : ヌードマウスへのヒト由来癌移植後の腫瘍増加曲線
	出典 : 未発表・社内データ等
	概要 : データのみ
	使用動物: ICR-Nude,BALB/c-Nude
	結果 : 腫瘍増殖率:ICR-Nude>BALB/c-Nude
4-6	表題 : Strain Differences in Sensivity to the Promoting Effect of Sodium L-Ascorbate in a Two-stage Rat Urinary Bladder Carcinogenesis Model
	出典 : Jpn. J. Cancer Res. 88,245-253, March 1997
	概要 : BBN初期化膀胱二段階発癌での体重、膀胱重量、発癌頻度等の系統比較
	使用動物: F344,LEW WS,ODS
4-7	表題 : L1210、P388に対する感受性の系統差
	出典 : 未発表・社内データ等
	概要 : 各系統における2種癌細胞の接種量に対する生存日数のデータ
	使用動物: BDF1,CDF1,DBA/2、
	結果 : データのみ
4-8	表題 : Strain Difference in Regulation of Pituitary Tumor Transforming Gene(PTTG)in Estrogen-induced Pituitary Tumorigenesis in Rat
	出典 : Jpn.j.Cancer Res. 92,2001
	概要 : 卵巣摘出したラット4系統にエストラジオール含有餌を与え、下垂体中のPTTGm-RNA量を比較し
	使用動物: F344,SD,Donryu,BN
	結果 : F344のみでエストラジオール投与によるPTTGm-RNAの増加が認められた。
4-9	表題 : ラットDimethylnitrosamine腎腫瘍における系統差
	出典 : 実験動物技術Vol.33 No.2 1998
	概要 : DMN投与40週後に腎、肝腫瘍性病変を観察した。
	使用動物: SD,F344
	結果 : SDでは成人型の腎細胞癌が100%誘発されたのに対しF344では幼児型の腎芽腫が60%、腎細胞癌が5%と系統差が認められた

5. 感染症

5-1	表題 : IL-12投与によるマウスのインフルエンザウイルス感染に及ぼす影響 出典 : 第25回日本免疫学会抄録 使用動物: CBA,C3H,BALB/c,C57BL/6,ICR,DBA/2 結果 : 抵抗性:ICR,C57BL/6,BALB/c、やや抵抗性:CBA、感受性:DBA/2,C3H
5-2	表題 : Murine Complement Reguces Infectivity of Plasmodium yoelii to Mosquitoes 出典 : Infection and Immunity 63(9),3702-3704 1995 概要 : ネズミの補体が蚊へのマリア原虫感染を減少する 使用動物: CBA,DBA/1,DBA/2 結果 : C5が補体欠損しているDBA/2ではマリアに感染して補体を保有する、DBA/1では感染を抑えた
5-3	表題 : Noncompromised Penicillin-Resistant Pneumococcal Pneumonia CBA/J Mouse Model and Comparative Efficacies of Antibiotics in This Model 出典 : Antimicrobial Agents and Chemotherapy,June 1996,P1520-1525 概要 : CRJ Lettersの元原稿(英文) 使用動物: CBA/J,CBA/N,C3H/J,C3H/N,C57BL/6,ICR 結果 : CBA/JNCrjが高感受性
5-4	表題 : CBA/JNCrjマウスによるペニシリン耐性肺炎球菌肺炎モデル 出典 : CRJ Letters 使用動物: CBA/J,CBA/N,C3H/J,C3H/N,C57BL/6,ICR 結果 : CBA/JNCrjが高感受性
5-5	表題 : ヘリコクターヒコリ感受性のマウス系統差 出典 : 未発表・社内データ等 概要 : 感染2W後の胃内菌数を測定 使用動物: ICR,C57BL/6,BALB/c,DBA/2 結果 : DBA/2が感染率、生着菌数ともに良好
5-6	表題 : Experimental respiratory tract infection caused by .fumigatus MF-13 in mice 出典 : 未発表・社内データ等 概要 : データのみ 使用動物: CBA,DBA/2,ICR,BALB/c
5-7	表題 : VREによる内因性感染発症に関する要因 出典 : 実験感染セミナー 概要 : バンコマイシン耐性腸球菌を感染させた時の死亡率の系統差 使用動物: CBA,C57BL/6,BALB/c,BALB/c-nu,C3H,ICR,ICR-nu,BDF1,CDF1,DBA/2,DBA/1,B6C3F1,scid 結果 : 死亡率データ
5-8	表題 : ペニシリン耐性肺炎球菌によるマウス呼吸器感染モデルの作製と薬効評価 出典 : 感染症セミナー 概要 : PRSPに対する感受性の系統差 使用動物: CBA,ICR ddY,C3H,BALB/c 結果 : CBAおよびC3Hが感受性が高かった。
5-9	表題 : ヒトの感染病態に類似したモデルの作成 出典 : 実験感染セミナー 概要 : ペニシリン耐性肺炎球菌に対する感受性の系統差(経鼻感染) 使用動物: CBA/JNCrj,C3H/HeN,C57BL/6,ICR CBA/N,C3H/HeJ 結果 : CBA/JNCrjのみで全例死亡した。
5-10	表題 : Klebsiella pneumoniaeによるマウス慢性呼吸器感染症モデル 出典 : 実験感染セミナー 概要 : K.pneumoniaeに対する感受性の系統差(噴霧感染) 使用動物: DBA/2,BALB/c,CBA/J,C3H,C57BL/6 CF1/K,ICR 結果 : CF1/K>DBA/2>ICR>BALB/c>CBA/J>C3H>C57BL/6

5-11	表題	: OBC法によるマウスH.influenzaeマウス呼吸器感染モデルの確立
	出典	: 実験感染セミナー
	概要	: H.influenzaeに対する感受性の系統差(OBC法)
	使用動物	: CBA,ICR
	結果	: ICR>CBA
5-12	表題	: インフルエンザ菌によるマウス呼吸器感染症モデル
	出典	: 実験感染セミナー
	概要	: 菌の肺への定着率の系統差
	使用動物	: ICR,CBA
	結果	: CBAの方が菌の肺への定着率は高かった。

6. 潰瘍

6-1	<p>表題 : Coefficient induction of pepsinogen 1-decreased pyloric glands and gastric cancers in five different strains of rats treated with MNNG</p> <p>出典 : Carinogenesis vol.9 no.3 pp.495-498 1988</p> <p>概要 : MNNGを10,30,50週飲水摂取させたラットにおけるペプシノーゲン減少性幽門腺の出現率の系統差</p> <p>使用動物: WKY,LEW,F344,CD,Wistar</p> <p>結果 : 50週での胃腺癌出現率:WKY>SD>LEW>Wis>F344</p>
6-2	<p>表題 : ラットの各種実験潰瘍発生における系統差について</p> <p>出典 : Therapeutic Research Vol6.No.3 1987</p> <p>概要 : 胃、十二指腸潰瘍のラット系統差</p> <p>使用動物: Wistar,F344,SD Donryu</p> <p>結果 : Shay潰瘍以外は系統差あり</p>
6-3	<p>表題 : テキストラン硫酸誘発潰瘍性大腸炎モデル作成におけるラット系統間差について</p> <p>出典 : 未発表・社内データ等</p> <p>使用動物: SD(IGS),Wistar,LEW,BN,F344</p> <p>結果 : 血便:F344>BN>LEW>Wis>IGS</p>
6-4	<p>表題 : F344ラットにおける腎石灰沈着症の病理学的検討</p> <p>出典 : Exp.Anim,35(3),299-305,1986</p> <p>概要 : SDとの発生率の比較</p> <p>使用動物: SD,F344</p> <p>結果 : F344♀が特に高い</p>
6-5	<p>表題 : Lewis系ラットにおけるイントメタシン誘発胃粘膜障害モデルの作製の試みと数種の抗潰瘍剤の反応性</p> <p>出典 : 薬理と治療Vol.26 No.5(1998)</p> <p>概要 : イントメタシン投与による胃粘膜損傷モデルを作製した。</p> <p>使用動物: SD,Wistar,Donryu,LEW</p> <p>結果 : LEWが広範囲かつ安定的に損傷が作製された</p>

7. 神経・精神

7-1	表題 : シヤトルボックス型装置による二系統ラットの条件回避行動の観察 出典 : 信州医学雑誌別冊第29巻第1号 概要 : SDとF344での条件回避学習訓練の系統差 使用動物: SD,F344 結果 : 学習: F344>SD、性差は無し
7-2	表題 : Genetic Differences in the Development of Physical Dependence on Pentobarbital in Four Inbred Strains of Rats 出典 : Japan.J.Pharmacol.45 479-486(1987) 概要 : ペントバルビタールの依存性の系統差 使用動物: F344,LEW,SHR,WKY 結果 : WKY>>LEW>SHR>F344
7-3	表題 : Genetic difference in preferences for morphine and codeine in LEW and F344 inbred rat strain 出典 : Japan.J.Pharmacol.47 425-431(1988) 概要 : モルヒネとコデインの嗜好性に対する遺伝的差異 使用動物: F344,Wistar 結果 : LEW>F344
7-4	表題 : 水迷路学習試験における系統、週齢および性差の比較検討 出典 : 第28回日本先天異常学会発表,29巻,A-45,P220,1989 概要 : Biel型水迷路学習試験に関する基礎検討 使用動物: SD,Wistar SD,Wistar 結果 : 高週齢ほどゴール未到達が増える、6週齢が適当
7-5	表題 : 条件回避学習試験における系統、週齢及び性差の比較検討 出典 : 第31回日本先天異常学会発表,31巻,C-57,P262,1991 概要 : シヤトルボックスでのラットの行動の系統差 使用動物: Wistar,F344,SD Wistar,F344,SD 結果 : 高週齢ほど回避率が低い
7-6	表題 : Differences in Acquisition of Discrete Lever-Press and Shuttle Avoidance Responses in 6 Strains of Mice 出典 : Japan.J.Pharmacol.40,303-310(1986) 概要 : シヤトルボックスでの各種マウスの行動の系統差 使用動物: ICR,BALB/c,C57BL/6,C3H,DBA/2 dd 結果 : C57BL/6の行動量が少ない
7-7	表題 : Reverse Tolerance to Ambulation-Increasing Effects of Methamphetamine and Morphine in 6 Mouse Strains 出典 : Japan.J.Pharmacol.49,197-203(1989) 概要 : methamphetamine,morphine反復投与による耐性、相互作用の系統差の検討 使用動物: ICR,BALB/c,C57BL/6,C3H,DBA/2 dd
7-8	表題 : Strain difference in the effects of morphine on the rectal temperature and respiratory rate in male mice 出典 : Psychopharmacology(1986)89:60-64 概要 : 直腸温、呼吸へのモルヒネの作用 使用動物: C57BL/6,DBA/2,BALB/c,C3H,ICR
7-9	表題 : Effect of morphine on the tissue cyclic AMP and cyclic GMP content in two strains of mice 出典 : J.Pharm.Pharmacol.1984,36:490-492 使用動物: C57BL/6,DBA/2

7-10	表題 : Sex Differences in Physical Dependences on Pentobarbital in Four Inbred Strains of Rats
	出典 : Gen.Pharmac.Vol.23,No.3,pp.487-492,1992
	概要 : ペントバルビタールの依存性の性差、系統差
	使用動物: F344,LEW,SHR,WKY
7-11	表題 : Susceptibility To,Tolerance To,and Physical Dependence on Ethanol And Barbitol in Two Inbred Strains of Rats
	出典 : Gen.Pharmac.Vol.23,No.1,pp.11-17,1992
	概要 : エタノール、バルビタールの耐性と依存性の系統差
	使用動物: F344,LEW
7-12	表題 : Mecamylamine-precipitated nicotine-withdrawal aversion in LEWiw and Fischer 344 inbred rat strains
	出典 : European Journal of Pharmacology 369(1999)159-162
	概要 : ニコチン受容体拮抗剤mecamylamineにより増強する慢性ニコチン投与後の禁断症状における系統差(位置嗜好度)
	使用動物: F344,LEW
7-13	表題 : Differential Sensitivity to Physical Dependence on Morphine and Codein in Three Inbred Strains of Mice
	出典 : Japan.J.Pharmacol.57,455-462(1991)
	概要 : モルヒネ、コデインの依存性の系統差
	使用動物: C57BL/6,C3H,DBA/2
7-14	表題 : 妊娠期に与えたアルコールの仔の行動に及ぼす影響
	出典 : Fisher Rat 研究会データ集(3)
	概要 : アルコールの行動奇形学的研究の一環として系統差の有無を検討した
	使用動物: F344 Wistar-Imamichi
7-15	表題 : フィッシャーラットの行動特性及び抗精神薬に対する感受性、ウイスターラットとの比較
	出典 : Fisher Rat 研究会データ集(3)
	概要 : 条件回避反応学集習得過程でF344とWistarでの系統比較
	使用動物: F344 Wistar
	結果 : 測定項目によって系統差の有無がある
7-16	表題 : 条件回避反応の習得におけるラットの系統差
	出典 : Fisher Rat 研究会データ集(3)
	概要 : 条件回避反応に適した系統の検索と習得過程の系統差を検討
	使用動物: F344 Fischer,Wistar,SD,Donryu
	結果 : 第1~第6sessionで回避反応率が急増、最終的には70%以上
7-17	表題 : 薬物依存とラット系統差
	出典 : Fisher Rat 研究会データ集(8)
	概要 : ラットの薬物依存の系統差
	使用動物: F344,LEW
	結果 : F344は薬物依存性が強い
7-18	表題 : 行動薬理学的に見たラット系統による向精神薬感受性の差異と神経化学的差異の相関
	出典 : Fisher Rat 研究会データ集(8)
	概要 : 中枢作用薬の効果の差異とカテコールアミン神経機能との相関性
	使用動物: F344,LEW
	結果 : 脳内CA動態に系統差あり
7-19	表題 : Strain difference to the effects of central acting drugs on sidman avoidance response
	出典 : Pharmacology Biochemistry & Behavior,Vol.17,pp.425-429,1982
	概要 : 行動と自発運動の系統比較
	使用動物: F344,Wistar
7-20	表題 : Differential establishment and maintenance of oral ethanol reinforced behavior in LEW and F344 inbred rat strains
	出典 : 未発表・社内データ等
	概要 : エタノールの嗜好性、体内分布の系統差
	使用動物: F344,LEW(GRL)

7-21	表題	: 行動-Step through test
	出典	: 未発表・社内データ等
	概要	: データのみ
	使用動物	: BN,Wistar
	結果	: BNは泳ぎが下手で水迷路試験には不適
7-22	表題	: Evidence for a Depressive-like State Induced by Repeated Saline Injections in Fischer 344 Rats.
	出典	: Pharmacology Biochemistry and Behavior,Vol57,No.4 883-888(1997)
	概要	: 食塩の14日間反復投与とハンドリングによる鬱状態の系統差(体重、オープンフィールド他)
	使用動物	: SD,F344

8. 循環器

8-1	<p>表題 : C57BL/6 strain is most susceptible to cerebral ischemia following bilateral common carotid occlusion among seven mouse strains: selective neuronal death in the murine transient forebrain</p> <p>出典 : Brain research 752(1997)209-218</p> <p>概要 : マウス7系統を用いて両側性の頸動脈閉塞が大脳虚血を起こすかを検討した。</p> <p>使用動物: C57BL/6,ICR,BALB/c,C3H,CBA,DBA/2 ddy</p> <p>結果 : C57BL/6の90%以上で典型的神経症状を示し、選択的神経細胞死を引き起こした</p>
8-2	<p>表題 : 雄の高血圧自然発症ダイコクネズミに及ぼすオゾン暴露の影響</p> <p>出典 : 医学と生物学・第129巻・第1号・1994年7月10日 39-41</p> <p>概要 : 急性オゾン暴露のLC50と赤血球浸透圧抵抗測定</p> <p>使用動物: SHR,Wistar</p> <p>結果 : SHRがLC50低下、赤血球浸透圧抵抗増加</p>
8-3	<p>表題 : 雌の高血圧自然発症ダイコクネズミに及ぼすオゾン暴露の影響</p> <p>出典 : 医学と生物学・第129巻・第5号・1994年11月10日 219-221</p> <p>概要 : 急性オゾン暴露のLC50と赤血球浸透圧抵抗測定</p> <p>使用動物: SHR,Wistar</p> <p>結果 : SHRがLC50低下、赤血球浸透圧抵抗増加</p>
8-4	<p>表題 : マウス両側総頸動脈閉鎖による脳虚血発生頻度の系統差に関する検討</p> <p>出典 : CRJ Letters</p> <p>概要 : マウス7系統を用いて両側性の頸動脈閉塞が大脳虚血を起こすかを検討した。</p> <p>使用動物: C57BL/6,ICR,BALB/c,C3H,CBA,DBA/2 ddy</p> <p>結果 : 脳虚血神経細胞死の発生: C57BL>ICR>BALB/c</p>
8-5	<p>表題 : 動静脈シャント血栓モデル<Part-1></p> <p>出典 : 未発表・社内データ等</p> <p>概要 : ラット右頸動脈-左頸静脈をホリエチレンチューブで繋いだシャントモデルを作成し、血栓のフリーダ-間の差及び系統差を調べた。</p> <p>使用動物: SD SD,Wistar</p> <p>結果 : 血栓形成量: Crj:SD>他社SD>他社Wistar</p>
8-6	<p>表題 : 動静脈シャント血栓モデル<Part-2></p> <p>出典 : 未発表・社内データ等</p> <p>概要 : ラット右頸動脈-左頸静脈をホリエチレンチューブで繋いだシャントモデルを作成し、血栓の系統差を調べた。</p> <p>使用動物: SD,Wistar</p> <p>結果 : CRJのSD,Wistarでは同程度の血栓形成が見られた</p>
8-7	<p>表題 : A Parallel Comparison of Age-Related Peripheral Nerve Changes in Three Different Strains of Mice.</p> <p>出典 : Exp.Anim. 49(4), 295-299, 2000</p> <p>概要 : 3系統のマウスの加齢性末梢神経病変の病態的・機能的な障害性の比較検討</p> <p>使用動物: C57BL/6,C3H,B6C3F1</p> <p>結果 : C57BL/6は肥満が少なくBW・血中脂質濃度・末梢神経伝達速度が低値、加齢性末梢神経病変の発現率も他の2系統より低く軽度であった。</p>
8-8	<p>表題 : 高血圧自然発症ラットに及ぼす二酸化炭素暴露の影響</p> <p>出典 : 未発表・社内データ等</p> <p>概要 : 二酸化炭素暴露を行い、血圧及び赤血球浸透圧抵抗値を比較した。</p> <p>使用動物: SHR,Wistar</p> <p>結果 : SHRで赤血球浸透圧抵抗の増強が認められた。</p>
8-9	<p>表題 : Tail-cuff法による非観血的血圧測定法による血圧データ</p> <p>出典 : 未発表・社内データ等</p> <p>概要 : 3系統の血圧データ</p> <p>使用動物: SHR,WKY,F344</p> <p>結果 : データのみ</p>

8-10	表題	: Strain Difference in Sensitivity of Mice to Renal Toxicity of Inorganic Mercury
	出典	: The Journal of Pharmacology and Experimental Therapeutics
	概要	: マウス各系統にHgCL ₂ を投与し、水銀の腎臓に対する毒性の感受性を比較した。
	使用動物	: C3H,B6C3F1,C57BL/6N
	結果	: 感受性: C3H>B6C3F1>C57BL 感受性の系統差は、水銀の腎臓への蓄積の差によるものと考えられた。
8-11	表題	: マウス三種系統差における総頸動脈結紮誘発の脳内血行変化およびBcl-2発現の評価
	出典	: 脳循環代謝 11(1999)
	概要	: 両側総頸動脈を結紮し、脳虚血モデルを作成した。
	使用動物	: ICR,BALB/c,C57BL/6
	結果	: C57BL/6において脳血管造影に著明な衰弱がみとめられた。

9. 代謝性疾患(糖尿病・肥満)

9-1	<p>表題 : 飽食下および絶食下の各種マウスによるグルコース負荷試験</p> <p>出典 : 未発表・社内データ等</p> <p>概要 : 耐糖能およびインスリン分泌能の系統差の検討</p> <p>使用動物: ICR,BALB/c,DBA/2,C3H,C57BL/6</p> <p>結果 : データのみ</p>
9-2	<p>表題 : 高コレステロール食に対するラットの応答に関するプロジェクト成果報告</p> <p>出典 : 日本栄養・食糧学会誌Vol.45 No.6 564-567 1992</p> <p>概要 : 系統、フリーター毎の差の有無を検討</p> <p>使用動物: SD,Wistar,F344,SHRSP SD,Wistar,F344</p> <p>結果 : SDではフリーター間の差が小さい</p>
9-3	<p>表題 : Rapid Determination of Haemoglobin A1c and Glucose in Mice: Strain Differences, Glucose Tolerance Tests and the Neonatal Streptozotocin Induced Diabetic Model</p> <p>出典 : Atherosclerosis,57(1985)65-73</p> <p>概要 : 4種マウスの血糖値、ヘモグロビンA1c値、及びSTZ投与後の血糖値、ヘモグロビンA1c値を測定し</p> <p>使用動物: C3H/HeN,C57BL/6N,B6C3F1,ICR</p> <p>結果 : 非絶食時のヘモグロビンA1c値及び血糖値はICR>B6C3F1>C57BL/6N>C3H/HeNとなった。</p>
9-4	<p>表題 : ストレプトゾチン誘発糖尿病動物: I型糖尿病モデル動物</p> <p>出典 : 未発表・社内データ等</p> <p>概要 : STZ投与により作出したI型糖尿病モデル動物(ラット・マウス)の体重と血糖値</p> <p>使用動物: IGS, WI, ICR, BALB/c, C57BL/6N</p> <p>結果 : データのみ</p>
9-5	<p>表題 : 肥満および糖尿病マウスを用いた血中アディポネクチン評価試験結果</p> <p>出典 : 社内データ(大塚製薬株式会社)</p> <p>概要 : 血中アディポネクチン濃度の加齢性変化、飼育条件による血中インシュリン・血糖値・体重データ</p> <p>使用動物: B6.V-Lep^{ob}/J, BKS.Cg-m^{+/+}Lepr^{ob}/J</p> <p>結果 : ob/obおよびdb/dbは、集団または個別飼育条件下では病態の発現に差が生じ、特に血中アディポネクチンは変化しやすい。</p>
9-6	<p>表題 : B6.V-Lep^{ob}/JおよびBKS.Cg-m^{+/+}Lepr^{ob}/Jにおける麻酔による血糖値への影響確認試験</p> <p>出典 : 未発表・社内データ等</p> <p>概要 : 無麻酔下での眼底静脈採血と麻酔(ネンプタール)下での後大静脈採血における血糖値の差異検討</p> <p>使用動物: B6.V-Lep^{ob}/J, BKS.Cg-m^{+/+}Lepr^{ob}/J</p> <p>結果 : 麻酔・後大静脈>無麻酔・眼底静脈、</p>
9-7	<p>表題 : B6.V-Lep^{ob}/J 雌雄基礎比較データ</p> <p>出典 : 未発表・社内データ等</p> <p>概要 : 雌雄、ホモ/ヘテロでの体重、血中インシュリン/グルコース/トリグリセリド/尿素窒素/クレアチニン</p> <p>使用動物: B6.V-Lep^{ob}/J</p> <p>結果 : データのみ</p>
9-8	<p>表題 : BKS.Cg-m^{+/+}Lepr^{ob}/J 雌雄基礎比較データ</p> <p>出典 : 未発表・社内データ等</p> <p>概要 : 雌雄、ホモ/ヘテロでの体重、血中インシュリン/グルコース/トリグリセリド/尿素窒素/クレアチニン</p> <p>使用動物: BKS.Cg-m^{+/+}Lepr^{ob}/J</p> <p>結果 : データのみ</p>